

## 平成4年度 法定伝染病関係検査結果

### 臨床検査係

平成4年度に905件の法定伝染病関係の検査を実施した。検体は主に変法Amie培地（シンテック、トランシステム）に採取した便で、アメーバ赤痢の場合のみ排泄便を用い、必要に応じて井水等の検査も実施した。検査は、検体搬入時に原因が特定されている事例ではその菌種を対象として行い、疑似の症例および海外旅行者では食中毒菌を含めた腸管系病原菌を対象として実施した。

実施した905件の内、経過者検便34件を除いた29事例871件の概要と検査結果を下表に示した。29事例のうち福岡市内居住者から伝染病菌が検出されたのは9事例で、内訳は細菌性赤痢が5事例（*S. sonnei* 4事例、*S. flexneri* 1事例）、アメーバ赤痢が3事例、腸チフスが1事例であった。このうち、細菌性赤痢の2事例（*S. sonnei*、*S. flexneri* 1事例）は海外での感染で、1事例（*S. sonnei*）は海外由来の二次感染が疑われた事例であった。また、9事例のうち2事例が集団発生事例で、真性患者6名、疑似患者3名の*S. sonnei*による赤痢事例と、真性患者3名の腸チフス事例であった。

残る20事例の内訳は疑似赤痢が1事例（出血性腸炎に転症）、福岡市周辺地域で発生した真性赤痢の接触者検便が1事例、海外旅行で同行者から伝染病菌が検出されたため接触者検便の依頼があったもの14事例、赤痢疑似として依頼のあった海外旅行者下痢症例が3事例、コレラ汚染地域からの渡航者の検査依頼が1事例であった。そのうち、海外旅行で伝染病が発生した事例では、同行者3名からそれぞれサルモネラ、毒素原生大腸菌、病原大腸菌が検出された。しかし、海外旅行者下痢症例も含めて有症者は、検体採取以前に売薬を服用したり、医療機関で投薬を受けたりしている場合が多く、原因菌は検出されなかった。

受付日	区分	概要	検査結果
H. 4. 4. 17	真性赤痢	当市近郊にある保育園の園児から <i>S. sonnei</i> が検出され、その接触者検便で福岡市早良区に住む保母を含む3名から同菌が検出されたため、家族の検査依頼があった。	保母の家族6名（-）
4. 24	真性赤痢	4月4日から19日までネパールに旅行した山口県の女性から <i>S. sonnei</i> 検出の連絡。	同行者1名（-）
5. 7	真性赤痢	東区に住む6歳の男児が4月30日から下痢を訴え5月1日粘血便、嘔吐のため博多区の病院で受診、便培養を実施し、2日入院した。男児は3日夕方退院したが、7日 <i>S. sonnei</i> が検出された。 聞き取り調査によれば、父親が4月1日から18日までシンガポール、ベトナムに出張しており、23日から妹（3歳）、26日から姉（10歳）に下痢、腹痛、発熱があり治療を受けていた。また、7日現在、兄（7歳）、妹（4歳）も下痢症状があった。 検便の結果、母親と兄から同菌が検出され、菌が検出されなかった姉妹は疑似赤痢と診断された。 5月9日、妹達が通う保育園の園児（4歳と3歳の兄弟）が、兄が4日から、弟が8日より下痢、腹痛、発熱があるため、母親と共に検便のため保健所を訪れ、11日兄弟から同菌が検出された。この時は兄弟の母親から菌は検出さなかったが、後日感染症センターにて検便時同菌が検出されている。	初発患者家族5名中2名から <i>S. sonnei</i> 検出、3名（-） 小学校同級生等176名（-）、 保育園129名のべ256件中2名（2件）から <i>S. sonnei</i> 検出、254件（-）、 接触者2名のべ3件（-）

受付日	区分	概要	検査結果
5. 21	真性赤痢	5月8日から17日までのタイ、ネパールツアーに参加した北九州市の63歳の男性と45歳の女性からそれぞれ <i>S. flexneri</i> 2 a、 <i>S. flexneri</i> 4 検出の連絡。	同行者1名(-)
5. 30	真性赤痢 (アメーバ)	西区に住む70歳の男性が5月3日より食欲低下、臥床した。6日近医で受診、7日総合病院で受診、肝膿瘍、胆石の診断で8日入院した。20日精査のため大学病院に転院、29日アメーバ赤痢と診断された。患者は、戦中および戦後、中国、シベリアに滞在していたが、アメーバ赤痢の既往は不明。	患者家族7名のべ8件(-)、 井水1件(-)
6. 11	真性赤痢 (アメーバ)	中央区の男性がアメーバ赤痢と診断された。患者からは行動、接触者等について聴取できなかったが、接触者本人が検査を希望して保健所に相談。	接触者1名(-)
6. 15	真性赤痢	5月31日から6月4日までのインドネシア(バリ島)ツアーに参加した北九州市に住む54歳の女性が、5日朝から下痢が続くため11日受診。12日 <i>S. sonnei</i> 検出の連絡。	同行者6名(-)
6. 17	真性赤痢	6月6日から13日までのエジプトツアーに参加した大阪府の女性から <i>S. sonnei</i> 検出の連絡	同行者2名中1名からETEC (LT+, UT) 検出、1名(-)
6. 24	真性赤痢	6月13日から18日まで社内旅行で、インドネシア(バリ島)に行った仙台市の27歳の女性が17日発症、18日受診、22日 <i>S. sonnei</i> 検出の連絡。福岡市内の同行者は18日より症状があったが、受診、投薬後であった。	同行者1名のべ2件(-)
6. 29	赤痢疑い (海外旅行者)	城南区の28歳の女性が6月25日から28日まで社内旅行でインドネシアに行った。28日帰国の機内で下痢が始まり、検疫所で検査を勧められたが、受けなかった。29日、水様下痢、腹痛、嘔気、嘔吐、微熱のため近医で受診、投薬後保健所に相談。	本人(-)
7. 17	真性コレラ	東京都の32歳の女性が5月30日から7月13日までネパール、インド、タイ、フィリピンに旅行、帰国時の検査でコレラ菌が検出されたとの連絡。	同乗者1名(-)
7. 24	疑似赤痢	中央区の22歳の女性が子宮内膜炎で近医受診、治療中であったが、血便が現れたため、大学病院に転院、アメーバ赤痢の疑いで届出があった。感染症センターに収容後、出血性腸炎に転症。	患者家族3名(-)、 接触者1名(-)
8. 19	真性赤痢	早良区の10歳の女児が、8月14日から17日まで中国(北京、大連)へのツアーに参加、15日より下痢のため検疫所で検便、19日 <i>S. sonnei</i> が検出。	患者家族3名(-)、 同行者8名(-)
8. 24	赤痢疑い (海外旅行者)	西区の20歳の大学生(男性)が、8月4日から14日までシンガポール、タイへ旅行、7日から下痢が続いたので、14日市販の下痢止めを服用した。21日再び下痢をしたため近医で受診、投薬後、相談。	本人(-)

受付日	区分	概要	検査結果
9. 3	赤痢疑い (海外旅行者)	中央区の37歳の男性が、8月13日から21日まで ホンコン経由でタイ(バンコク)へ旅行し、17日 から腹痛、軟便があり、9月1日水様下痢となった。 2日下痢止めを服用したがまだ治らないため相談。	本人(-)
9. 3	真性赤痢	北九州市の25歳の男女がモルジブ旅行後、真性 赤痢と連絡。	同行者1名(-)
9. 16	真性赤痢	8月23日から9月9日まで、北九州市内の大学 の研修旅行でインドに行った学生(20歳、男性) が、10日から下痢、発熱があるため11日近医で受 診、14日 <i>S. sonnei</i> が検出されたとの連絡。	同行者5名中1名から <i>S. Bardo</i> 検出、4名(-)
9. 21	真性赤痢	京都府の66歳の男性が、9月11日から15日まで ロシア(ウラジオストック)に旅行、13日から下 痢が始まり、14日より発熱、16日医療機関を受診、 19日 <i>S. flexneri</i> 検出の連絡。	同行者2名(-)
10. 25	真性チフス	早良区にある専門学校寮の寮生A(18才女性) は9月末頃より風邪をひき、発熱があるため10月 初め頃近医で受診。一方、寮生B(19才女性)は 10月12日より発熱があり13、15日同医院で受診。 両名とも18日(日曜日)救急病院に入院、血液培 養実施、24日寮生Aから <i>S. Typhi</i> 検出。寮生Bは 疑似チフスとして、両名共感染症センターに収容 された。10月30日、寮生Bも <i>V i</i> 抗体価の上昇が みられたため、腸チフスと臨床決定された。 接触者検便の結果、寮職員の70才の女性から <i>S. Typhi</i> を検出した。この女性は、発熱下痢等の 症状はなく、胆石で通院治療中であった。 なお平成3年7月に寮の関係者(24才、別世帯) が腸チフスに罹患しており、その際の菌株と今回 分離された2株のフェージ型は、46型で一致して いた。	患者、保菌者家族6名のべ13 件(-)、 寮生、職員ほか179名のべ295 件中 職員1名のべ2件より <i>S. Typhi</i> 検出、 寮生1名のべ2件より <i>S. Enteritidis</i> 検出、 同1名より <i>S. Infantis</i> 検出。 残る176名のべ290件(-) 接触者1名(-)
11. 13	真性コレラ	インドネシアから帰国した長岡市の29歳の男性 から <i>V. cholerae</i> (エルツール小川型)が検出さ れ、同じ航空機で帰国した福岡市内の家族の検査 依頼。	同乗者3名(-)
11. 17	真性赤痢	11月1日から6日までインドネシアへの旅行者 から <i>S. flexneri 2 a</i> 検出の連絡。	同行者1名(-)
H. 5. 1. 5	真性赤痢	南区に住む21歳の女性が、12月27日発症、28日 近医受診、1月5日 <i>S. sonnei</i> が検出された。患者 は、一人暮らし、無職で、海外旅行歴はなく感染 経路等は不明。	接触者等が無いため検査は実 施せず、2月に経過者として 本人の検体提出。
1. 20	真性赤痢 (アメーバ)	博多区に住む52歳の男性が、12月中旬より時々 血便があるため26日受診、1月9日大腸ファイバー 実施、19日組織診でアメーバ赤痢の診断。患者は 一人暮らしで、週末のみ家族(市外居住)のもと に帰っている。	同僚20名(-)

受付日	区分	概要	検査結果
1. 23	真性チフス	東京都の45歳の男性が12月16日より23日まで台北、香港、韓国に旅行、滞在中に下痢が1回あった。1月11日より発熱、14日近医受診、19日大学病院受診、21日血液より <i>S. Typhi</i> 検出の連絡。	台北のみ同行者1名(-)
1. 25	真性赤痢	早良区の27歳の女性が、11月26日から12月6日まで、単独でインドネシアに旅行し、12月1日嘔気、嘔吐、下痢があり、以後軟便が続いていた。1月15日より食欲も低下してきたため22日近医で受診、25日 <i>S. flexneri</i> 1bが検出された。	患者家族1名のべ2件(-)、 接触者22名(-)
2. 2	コレラ菌 検査依頼	コレラ汚染地域(フィリピン)からの渡航者の検査依頼。	渡航者3名(-)
3. 22	真性赤痢	インドに単独で旅行した大学生から <i>S. flexneri</i> が検出されたとの連絡。	接触者10名(-)
3. 25	真性赤痢	粕屋郡の78歳の女性が、3月13日脳梗塞で脳神経外科に入院。15日から下痢症状が現れ、16日血便となった。19日大学病院に転院、大腸ファイバースコープで感冒性腸炎が疑われ、抗生物質投与が開始された。22日便培養を実施、24日 <i>S. flexneri</i> が検出された。その後患者宅の家政婦からも菌が検出されている。	病院内付き添い婦1名(-)
3. 27	真性赤痢	粕屋郡の25歳の女性が、3月8日から12日までの中国ツアーに参加。12日より下痢が現れ、13日発熱、腹痛もあるため市内の病院で受診。14日入院し、15日より抗生物質が投与された。15、16日の便培養検査は陰性であったが、17日より血便があり、18日の便培養の結果、26日 <i>S. flexneri</i> が検出された。	同行者4名中1名からEPEC検出3名(-)